

看護部だより

ひまわり



2011年5月
発行責任者：山口圭子

Vol.12

～誇りをもって心に届くケアを～

看護部長 緒方くみ子



東日本の大震災から2か月となり今も様々な苦境に立ち向かっておられる方々がいます。病院では義援金を送り、5月末JMAT要請による被災地支援に参加することになりました。多くのスタッフが支援を申し出ていただき感謝していますが、今回は先ず2名の参加となります。無事使命を果たせるように、また被災された方々が少しでも元気になっていただけるように願っています。

災害も病気も突然起き、人生の苦境に立たされ選ぶことが許されません。毎日、私たちが出会い看護する患者さんはそのような方々です。それでも、一人一人がそれに立ち向かう力を持っておられます。看護とはその力を発揮できるように支えることだと思います。

今年度のテーマ「信頼され感動を分かち合える」という言葉にその思いが込められています。一人一人を尊重し、より添い、誇りを持って心に届くケアを実践しましょう。

今年度も、緩和ケアや集中ケア、NST専門療法士、回復リハビリ看護等の認定看護師を目指して頑張ってください。それぞれが自分の目標に向かってチャレンジし、生き生きとした職場風土づくりを進めましょう。

教育委員会

平成23年度 教育テーマ “自ら学び、互いに成長する力を育てる”

皆さん一人ひとりがどんな研修内容を望んでいるのか知り、ニーズを少しでも反映させた企画を行っていききたいと考えています。東日本大震災をきっかけにして、当院の災害時の対応や防災面を見直すための講演会や緩和ケアに関する研修について現在、協議中です。

また、教育委員は皆さんが講義で学んだ内容が現場でどのように活かされているか理解し、フィードバックを行っていききたいと思っています。お互いに刺激し合い、成長していきましょう！

年間研修計画（研修フォルダ内）の研修目標や日程を確認して、研修にご参加下さい。



業務委員会

平成23年度 業務委員会活動目標

「患者・家族・チーム医療メンバーに見える看護の提供」

私たちが提供している看護が患者・家族に十分伝えることができれば、入院中の治療・看護へ患者・家族が参加することでより大きな効果が得られます。また、医療チーム間においても連携・協働に繋げていくことができます。そう考えた時、「看護の可視化」することがより多くの信頼関係に繋げることができると考えました。

- | | |
|-----------|---|
| 業務検討部会 | ： 「受け持ち看護制の充実」 |
| 基準・手順検討部会 | ： 「看護基準手順の充実と浸透を図り統一した実践的看護ケア技術を提供できる」 |
| 情報管理部会 | ： 「患者参画型看護の実践」「記録監査のスキル向上」「看護記録記載基準の検討」 |

教育研修レポート

キャリア 成果発表会

回復リハビリ病棟 瀬戸口久美子主任

昨年度は初めての試みで、「自己の専門性を高め、他職員の役割モデルとなる」研修のねらいで、キャリアの方々には一年間の目標と計画を各自で進めてもらいました。

今回の発表は、キャリア2年目以上12名が対象であり、発表は11名でした。各自研修の参加や、本を購入しての自己学習はしているが、なかなか他職員の役割モデルという目標までは難しいようでした。

本年度は、キャリアが38名となります。各自が目標を持って、達成する喜びを得ながら、成長出来るように進んでいってほしいと思います。



伝達研修

3 西病棟 中富英樹

☆実習指導者講習会（切通智美）

臨床指導者の役割について、人的・物的環境を整える。学生の学習意欲を促進させ、能力向上への動機づけを行う。指導者自身の看護観を学生に伝えながら指導する。社会人としてのふさわしいマナーを身につけ、より良い人間関係を発展できるように指導するなどが主な内容であった。次に理想的な臨床指導者の行動と、やめてほしい臨床指導者の行動について具体的な説明があった。研修参加の話をいただいた時の自分の心境をふまえ、とてもわかりやすく伝達されていました。

☆糖尿病臨床技能向上研修（濱田知美・中屋洋子）

まず現在の糖尿病発病者数、合併症とその後の予後など、糖尿病を取り巻く環境についての説明があった。その後糖尿病患者における（運動・食事・薬物療法時の支援）、慢性疾患患者の看護ケアと看護理論、患者教育技法などについての説明があった。患者教育技法では、エンパワーメントや自己効力理論、遂行行動の成功体験など自分で行動し達成できたという成功体験を持ち、達成可能な小さな目標から目指していく。指導の際もこのような理論を用い目標を立てていくと達成しやすいということであった。

どの研修も充実した内容で、とてもわかりやすく伝達され、活用できる研修でした。

緩和ケア研修

4東病棟 濱田幸蔵

「緩和ケアを行う看護師の役割」

宮崎県都城市にある三州病院の総看護師長で、緩和ケア認定看護師の松元和代さんを招いて研修会を行いました。

ターミナル期の患者を受け持ち、どのように緩和ケアをしていけばよいのか、悩んでいる方も多いと思います。患者の「痛い」の裏に秘められた思いについてゆっくり考えたことがありますか？急性期病棟で働くと、考えている暇なくレスキュー投与や鎮痛剤の増量に向かう傾向はないでしょうか？

痛いという言葉の意味・・・それは身体的痛みだけでなく、精神的、霊的に訴えている。そんな言葉を聞き取れる一番近くにいる看護師。

「せめて〇〇だけでも・・・。」小さな希望を聴くだけでいい。「〇〇だけ」をケアすれば患者は何かしらの変化があり苦痛は軽減するのではないのでしょうか。

「小さな変化をたくさん作り出し、積み重ねていくことが大事」講師の松元さんの言葉です。変化を見つけるため、患者の心へ一歩近づいて見ませんか。きっと緩和ケアの一歩につながるでしょう。

グリーフケア・ワークショップ

4東病棟 小牧加代子師長

1月21日～24日の4日間、喪失と悲嘆に関する理論・喪失と悲嘆に対するサポート・ケーススタディとグループワークデスカッション・自己認知とセルフケア・セルフケアに関連する個人の価値観や信念についてなど基本の入門～中級コースに参加しました。

講師は、オーストラリア人のグリーフケアカウンセラー・教育者・スーパーバイザーであるリンダ・エスピー女史で、通訳を介しながらの研修でした。

グリーフケアとサポートにおける私たち医療者の役割は、「悲しみを持っている人に誠実に関わること、個々の患者や家族に適した情報を提供すること、物語を語ってもらうための姿勢・態度を示す、言葉の背後にある感情に耳を傾ける、言葉と言葉の間にある感情を聞く、痛み・沈黙・淋しさ・怒りと共に居る、理解したということを伝え承認する、評価をしない」などで、その奥・根底にあるものは何かを知る必要があります。

そして、悲嘆の中にある人のケアにはストレスが伴い、ケアに携わることによって、自分自身の悲嘆と向き合うことにもなります。ケアに携わるとき自分自身をも十分ケア出来なければ、その犠牲になってしまいます。医療者である私たちは、自分自身の休息・ストレスの解消方法を見つけ、バランスを取りながらセルフケアをすることが大切であると再認識すると共にグリーフケアの奥の深さを知り、今後も臨床や研修を通して経験を重ねながら勉強をしていかなければならないと感じました。



平成23年度 各部署の目標

思いやりが見える看護

4階東病棟

Aチーム目標：相手の立場になって考え、行動ができる
小集団活動チーム

Aチーム：1) 患者参画型看護の充実

- ①看護計画
- ②カンファレンス
- ③看護記録
- 2) 勉強会
- 3) 環境整備・調整の強化（看護助手チーム）

Bチーム目標：患者と共に考え、生活背景を取り入れた看護の実践
小集団活動チーム

Bチーム：1) 退院指導の充実

- ①パンフレット
- ②服薬指導
- 2) 勉強会



魅力ある外来づくり！ ～個別性のある看護を提供する～

外来

「病院の顔」である市民病院・外来の職員としてふさわしい看護師として、魅力的な外来づくりを目指したいということで今年度の目標にしました。

消化器チームの目標は、「医師・コメディカル間でカンファレンスを開催し、情報の共有化と個別的看護ケアの提供に活かす」、アンギオチームは、「診療及び検査前後の患者のニーズに沿った看護を提供する」という目標で、検査治療前後の患者訪問の実施・マニュアルの改正、診療担当看護師の2人体制導入など、個別的なケアの実現に向けて計画しています。診療チームは、「対象の人権を尊重し真心を込めた看護を提供する」という目標で、看護計画の立案にあたり、看護診断の13領域についての学習会を計画しています。

また、外来において、はじめて診療の固定化を導入しようと計画しています。担当看護師と医師・患者の調整役として患者の身体的・精神的不安の軽減に努め、温かい看護を一人でも多く提供できるよう努めたいと思っています。



責任と自覚を持った看護実践

3階東病棟

Aチーム：専門性を高め安全で信頼される看護の提供

Bチーム：受け持ち看護師としての自覚と責任をもち退院指導まで行う

小集団活動：ちゃんと書くもん！（看護記録）

栄養満点（栄養管理）

LOVEケモ（化学療法）

1. 2. 3 リーダー（カンファレンス）

一人でできるもん！（退院指導）

病棟ピカピカ（環境調整）

専門性を高め患者様の機能を精一杯発揮できるよう支援する

3階西病棟

当病棟は整形外科・泌尿器科の混合病棟です。整形外科の患者さんは骨折の部位や手術の術式によりリハビリのタイミングや必要な動きが変わってきます。それに伴い日常生活でも積極的に取り入れるべき活動や制限すべき活動を見極める必要があります。また、泌尿器科では他科とは違う抗がん剤を使用します。ホルモン治療や回腸導管手術なども知識や時には技術まで患者さんへ指導していくことが必要になります。

このような専門性を意識しこの目標としました。

今年度Aチームは「参画型看護の充実」をBチームは「受持ち看護師の責任」をテーマに各2つの小集団で取り組んでいくこととなりました。「参画型看護の充実」は3年目、「受持ちの責任～退院指導～」は2年目です。毎年の活動がその時々で終わってしまわないことを目標に、去年より今年はさらに良い活動で患者さんに返していけたらと考えています。

1年間頑張りますのでよろしくお願いします。

平成23年度 各部署の目標

出会いを大切に、受け持ち看護師として責任ある行動をとる

4階西病棟

Aチーム目標は『参画型看護を実施し、安心できる看護の提供』とした。具体策として

- ①看護計画のセルフケアについて患者、家族と立案する
- ②1週間毎の評価の際、患者・家族の希望を聞いて修正できる
- ③出勤時には受け持ち患者へ挨拶に行く

小集団活動

- ①勉強会チーム
目標：勉強会を行うことで知識を統一し、安心できる看護が提供できる
- ②看護記録チーム
目標：実施した看護が見える記録ができる

Bチーム目標は『受け持ち看護師として、患者・家族と関わり、計画の立案・修正をする』とした。具体策として

- ①1日1回は患者の元へ挨拶に行く
- ②受け持ち看護師が日々の部屋担当になるようにする
- ③2週間に1回は患者・家族の意見を聞き、看護計画に取り入れる。
- ④受け持ちになった看護師が入院時のバイタルサイン測定などアナムネ聴取を行う

小集団活動

- ①記録チーム
目標：『患者参画型看護計画の充実』
- ②QOL向上チーム
目標：『退院に向けた指導ができる』



安全と心のこもった手術室看護の提供

手術室

手術室は、患者さんとの関わりの中で、患者さんがどのような経過を経て手術を決心されて手術に臨まれたか、その気持ちを大切に安心と安全を心がけた看護を心がけています。

例えば、術後訪問の充実を図るために終礼を始めました。SSI予防では、積極的な加温を行うことでSSI要因である低体温を予防する対策を搬入時から場面ごとに形をかえて行っています。他にもいろいろな具体策を通して患者さんに心をこめた看護を届けようと思います。

チーム力を集結し、患者・家族の思いを達成させよう!!

回復リハビリ病棟

回復リハビリ病棟の特性は、医療チームメンバー間の連携と協働で患者・家族の思いを叶えるところにあると考えます。そこで、私達看護職の専門性は何かと改めて考え小集団活動では、

日常生活動作向上・改善チーム（A看護師）

個々の能力向上における日常生活動作の統一した関わりで早期退院を目指し残存機能を引き出し統一した看護介入を行う。

退院調整チーム（B看護師）

退院フローチャート活用による参画型看護の充実を図る。

フィッシュ活動チーム（A看護助手）

屋上を利用したレクリエーションをする事で楽しみながら生活リズムをつける。

入浴ケアチーム（B看護助手）

自宅退院に向けて、患者・家族・リハビリスタッフを交えて、入浴動作獲得を行いQOLの拡大を図る。

としました。いろんな関わりを持つ中で、患者・家族の思いは何か確認しながら進めていきたいと考えます。患者・家族の思いを確認する為には、医療チームメンバー間のコミュニケーションを図っていく事が重要です。回復リハ病棟が開設され10年経過した今、回復リハ病棟に求められる役割は大きくそれを再構築していく足掛かりの1年になればと考え取り組んでいきたいと思っています。

S-QUE院内研修1000' Eナース

3/2放送 「知りたい！臨終を迎える終末期ケア 患者ケアの実際」

終末期看護に携わる中で悩んだことはありませんか？この研修では末期患者の死に至る心理プロセスから患者・家族へのケア・意思決定支援のための基本姿勢などについてわかりやすく解説してあります。きっと皆さんも今後の看護に活かせると思います。（内園）

4/6放送

「ケアに役立つ最新の感染管理の知識とスキル」

基礎的な感染予防についての内容でした。所々に「未開封の輸液パックの注入口は、開封直後であれば消毒の必要はない？」などQ&Aが組み入れてあり楽しく学べ、実践につなげやすい研修でした。是非感染予防に興味がある方は見てみてください。（東野）



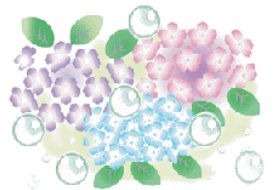
3/16放送

「極めたい！エンゼルケアのコツと実際」

死後ケアに変化をもたらす4つの要素やご家族の思い、コミュニケーションの充実、安心させられる対応へのヒント、エンゼルメイクの定義から方法について詳しく示され業務の中で役立つ内容となっていました。また、ご家族の思いを痛いほど感じさせられ、エンゼルケアの重要性を実感させられました。自分たちのエンゼルケアを振り返り、少しでも多くの人が興味を持ち、この研修に目を通してもらえたら、患者・家族が安心した最後をむかえられると思います。（日渡）

NewFace紹介

今年は8名の新人看護師が入職しました。平成19年よりスタートしたローテーションによる1年間の研修も5年目を迎え、今年はローテーションの期間などマイナーチェンジしました。指導体制は今まで同様、プリセプターを中心とした屋根瓦方式による全職員での指導になります。みなさんよろしくお願ひします。



園田 佑樹

4月から新人として勤務することになりました。分からないことばかりで今は業務に慣れることで精一杯ですが、優しい先輩方に支えられながら、なんとか乗り切っています。迷惑ばかりかけるとは思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

中山 加奈子

4月から新人として働かせていただいています。今はまだ分からない事だらけですが、先輩方の指導のもと、一生懸命頑張っていきます。知識や技術がまだまだな分、せめて毎日笑顔を絶やさず・明るくを大事にしていきたいと思っています。たくさんのご指導をよろしくお願ひします。

入木田 朋加

今年、神村学園専修学校を卒業しました。趣味は映画観賞、アンパンマンやディズニーのイラストを描くのが少し得意です。まだまだわからないことだらけですが、一日も早く業務に慣れ、患者さん・スタッフからも信頼される看護師を目指してがんばります。

横江 悦子

今回新人として各部署をローテーションすることになり、はじめての急性期病棟で、知識や技術などドキドキ緊張しながらの毎日です。先輩たちにアドバイスをもらいながら、慌てず、緊張しないようにして少しずつ成長していけるようにしたいと思っています。

森山 千賀子

4月から看護師として働かせて頂いています。趣味は本・雑誌を読むこと、DVD鑑賞です。まだまだ慣れないことばかりで不安も大きいですが、少しでも先輩方のように仕事ができるよう日々頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

小牧 美幸

3年間学生として働かせていただきました。今回の新人研修で多くの事が学べるように積極的に取り組んでいきたいと思っています。また、学生時代に太った体型を元に戻すためにダイエットにも力を入れていきたいと思っています（笑）

下口 佳菜

4月から入職しました。加治木看護専門学校卒です。入職して1か月になりましたが、覚えることが多く勉強の日々です。早く仕事を覚えて患者や先輩方に迷惑をかけないように、一つずつ積み重ねて成長できたいなと思っています。ご指導よろしくおねがいします。

緒方 美穂

私の趣味は、中学からバスケットをしていたのもあり球技系が好きです。社会人になっても運動を続けていけたら良いなと思います。まだ仕事にも環境にも慣れない点が多く、迷惑ばかりかけていますが自分なりに頑張っていきますので、ご指導等宜しくお願いします。



マイブーム 外来 福留まなみさん

私のマイブームはガーデニングと家庭菜園です。気候も良くなり、我が家の玄関前にはパンジーやビオラ、ペチュニアなどが生き生きと咲いています。“お花きれいだね～”と2歳の息子も喜んでおり水やりなどのお手伝いをしてくれます。

最近は庭にアジサイやオオデマリを植えました。花が咲いてくれるのが楽しみです。

庭の手づくりの畑にはキャベツやミニトマトなどを植えています。キャベツは青虫で穴だらけ…でも息子は毎日のように畑をのぞき込み青虫と遊んでいます。トマトには黄色い花が咲き、収穫が楽しみです。



先日、家族で花かごしま2011が開催されている鹿児島市中山にあるふれあいスポーツランドに行ってきました。会場のすべてが花一面でとてもきれいで癒されました。5月22日までなので（あと3日しかない！）、皆さんもぜひ、お弁当を持って遊びに行ってみてください。



東日本大震災 義援金について

各部署から集められた総額127,392円のうち、鹿児島県看護協会へ62,685円送金しました。皆様のご協力ありがとうございました。

原子力災害と看護職の役割

今、日本看護協会のホームページでは、3月11日に発生した東日本大震災の影響で起こった福島第一原子力発電所での放射性物質漏えい事故に対し、放射線の健康への影響を正しく理解し、看護職としてどのように対処すべきかを理解するための教材が配信されています。（ただし、音声に難あり）

URL <http://www.nurse.or.jp/home/saigai/genshiryoku.html>

当院では、例年、医師・放射線技師・看護師の3名程度が「緊急被ばく医療基礎講座」等を受講しており、平成21年には当院で研修会を開催し、キャリアレベル12名も参加しています。

福島第一原発のニュースが毎日流れるたびに、恐怖心がおおられてしまいがちですが、放射線に対する正しい知識を理解し、周囲のご家族等へも正しく情報提供をして頂きたいと思います。



編集後記

英国ウィリアム王子とキャサリン妃の結婚式が4月29日にウェストミンスター寺院で行われましたが、婚約会見で指に輝くダイヤモンドの愛したサファイアの指輪…素敵でしたね。

サファイアは5月の誕生石ですが、知性と冷静な判断力をもたらし、大きなチャンスや運命的な出合いを確実に手に入れることができるようサポートし、集中力を高め、知的好奇心を旺盛にしてくれる力があるようです。

今年、仕事や勉強などをステップアップしたいと考えている人はパワーストーンとして天然石の力を活用してみてもいいかもしれません！

